



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 木船 亨

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,497	4.6	1,343	7.9	1,585	11.9	1,123	569.5
2019年3月期第3四半期	15,200	0.4	1,245	42.2	1,416	23.5	167	77.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,006百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 492百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	41.82	
2019年3月期第3四半期	6.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	21,993	16,838	77.1
2019年3月期	22,162	16,209	73.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 16,956百万円 2019年3月期 16,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		11.00	11.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	4.4	1,300	3.6	1,400	11.0	950	176.1	35.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	29,748,200 株	2019年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,895,956 株	2019年3月期	2,895,956 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	26,852,244 株	2019年3月期3Q	26,852,347 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に雇用・所得環境の改善が続くなかで緩やかな回復基調で推移したものの、不安定な中東情勢や米中貿易摩擦などにより先行き不透明な状況であります。

精糖業界においては、消費が減少傾向にあるなか、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食など厳しい販売状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるなか、砂糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,497百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益1,343百万円（同7.9%増）、経常利益1,585百万円（同11.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,123百万円（同569.5%増）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖事業においては、期初からゴールデンウィークにかけて菓子・冷菓向けの販売が好調に推移したものの、長く続いた梅雨寒、突然の猛暑により、飲料関係を中心に出荷が低調に推移し、期待された年末需要でも回復までには至らず、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では、販売数量が減少したものの、適切な原料調達に努めた結果、原材料コストが削減し、前期並みの利益を確保することができました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高8,259百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益1,351百万円（同0.1%増）の減収増益となりました。

② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、整腸作用、血中脂質の低減効果、食後血糖値の低減効果に関する3つの機能性表示が受理されたことに加え、低糖質素材の根強い需要もあり、国内での新規採用が増加しました。また、東南アジアなどで拡販を図った結果、新規採用が増加し、海外販売数量も増加しました。切花活力剤「キープ・フラワー」については、テレビCMを実施し、拡販を図りましたが、花卉市場低迷が続いているため、減収となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品ゼラチン、コラーゲンの販売が減少し、減収となりました。

利益面では、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.において、前第2四半期末において、固定資産の減損損失を計上したため、減価償却費の負担が軽減し、同社の業績が改善いたしました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高5,639百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益264百万円（同24.9%増）の減収増益となりました。

③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高454百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益386百万円（同4.7%減）の減収減益となりましたが、引き続き安定収益確保に貢献いたしました。

④ その他食品

その他食品は、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高144百万円（前年同期比17.8%減）、営業損失43百万円（前年同期営業損失72百万円）の減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.8%減少し、21,993百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ4.7%減少し、10,078百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ2.8%増加し、11,915百万円となりました。これは主に投資その他の資産「その他」に含まれる長期貸付金の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ16.2%減少し、3,575百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ6.3%減少し、1,579百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3.9%増加し、16,838百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の連結業績は、当初計画に対して海外原糖相場が軟調に推移したこと、持分法投資利益が増加したこと、さらにパーツ高による為替差益の増加などで予想に比較して増益となっておりますが、第4四半期におきましては、原糖仕入コストが上昇することや物流コストが増加していることなどマイナス要因が懸念されます。第3四半期の増益は前述のとおり、持分法投資利益や為替差益の増加が大きく寄与していることを踏まえ、現時点では2020年3月期の通期業績予想の修正はいたしません。

今後、修正が必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,373,473	2,926,605
受取手形及び売掛金	2,702,826	2,748,573
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,118,084	2,161,412
仕掛品	139,172	109,005
原材料及び貯蔵品	909,946	822,095
その他	1,035,346	1,013,398
貸倒引当金	△1,964	△2,109
流動資産合計	10,576,885	10,078,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	466,637	441,356
機械装置及び運搬具（純額）	116,644	119,137
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	-	359
その他（純額）	89,643	81,585
有形固定資産合計	3,200,360	3,169,874
無形固定資産		
のれん	145,853	64,861
その他	128,231	133,795
無形固定資産合計	274,084	198,656
投資その他の資産		
投資有価証券	6,163,389	6,070,596
関係会社長期貸付金	1,689,800	1,720,200
その他	280,907	780,258
貸倒引当金	△22,594	△24,567
投資その他の資産合計	8,111,502	8,546,487
固定資産合計	11,585,948	11,915,017
資産合計	22,162,833	21,993,997

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,461,566	1,251,798
短期借入金	1,426,020	1,445,266
未払法人税等	500,264	67,146
賞与引当金	114,408	60,011
その他	765,120	751,573
流動負債合計	4,267,380	3,575,796
固定負債		
長期借入金	466,082	336,359
退職給付に係る負債	22,670	1,331
資産除去債務	66,652	67,160
その他	1,130,368	1,175,143
固定負債合計	1,685,773	1,579,994
負債合計	5,953,153	5,155,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	11,724,125	12,483,447
自己株式	△717,126	△717,126
株主資本合計	14,580,802	15,340,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,727,271	1,679,621
為替換算調整勘定	41,938	△21,915
退職給付に係る調整累計額	△45,575	△41,688
その他の包括利益累計額合計	1,723,634	1,616,017
非支配株主持分	△94,757	△117,936
純資産合計	16,209,679	16,838,206
負債純資産合計	22,162,833	21,993,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	15,200,210	14,497,933
売上原価	11,150,981	10,325,911
売上総利益	4,049,229	4,172,022
販売費及び一般管理費	2,803,283	2,828,089
営業利益	1,245,945	1,343,932
営業外収益		
受取利息	20,544	24,295
受取配当金	66,841	65,405
為替差益	2,593	54,649
持分法による投資利益	88,649	98,623
その他	30,706	18,750
営業外収益合計	209,335	261,724
営業外費用		
支払利息	23,135	16,419
その他	15,570	3,901
営業外費用合計	38,706	20,320
経常利益	1,416,574	1,585,336
特別利益		
投資有価証券売却益	503,769	12
特別利益合計	503,769	12
特別損失		
固定資産除却損	43	108
減損損失	1,145,100	-
投資有価証券売却損	3,267	15,341
投資有価証券評価損	23,163	-
特別損失合計	1,171,575	15,450
税金等調整前四半期純利益	748,768	1,569,898
法人税、住民税及び事業税	583,045	401,871
法人税等調整額	45,266	51,136
法人税等合計	628,311	453,008
四半期純利益	120,457	1,116,890
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,281	△6,156
親会社株主に帰属する四半期純利益	167,738	1,123,047

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	120,457	1,116,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△610,845	△47,650
為替換算調整勘定	△5,965	△66,198
退職給付に係る調整額	3,844	3,887
その他の包括利益合計	△612,965	△109,962
四半期包括利益	△492,508	1,006,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△445,015	1,017,690
非支配株主に係る四半期包括利益	△47,492	△10,762

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS 第16号「リース」)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が689千円増加し、流動負債の「その他」が21,665千円及び固定負債の「その他」が49,600千円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は68,350千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,684,339	5,878,701	461,107	176,061	15,200,210	—	15,200,210
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,913	2,736	3,312	15,637	26,599	△26,599	—
計	8,689,253	5,881,437	464,419	191,699	15,226,810	△26,599	15,200,210
セグメント利益 又は損失(△)	1,350,292	211,692	405,988	△72,971	1,895,001	△649,056	1,245,945

(注) 1 セグメント利益の調整額△649,056千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第3四半期連結累計期間に、「機能性素材」セグメントにおいて985,716千円、「その他食品」セグメントにおいて159,383千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,259,605	5,639,014	454,514	144,798	14,497,933	—	14,497,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,508	—	4,384	16,451	26,343	△26,343	—
計	8,265,113	5,639,014	458,899	161,250	14,524,277	△26,343	14,497,933
セグメント利益 又は損失(△)	1,351,658	264,406	386,834	△43,742	1,959,157	△615,225	1,343,932

(注) 1 セグメント利益の調整額△615,225千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。